

株式会社NANAIRO主催 2016年度障がい者雇用フォーラム

障がい者雇用組織活性度診断(NANAIRO 診断)リリース記念

「採用から活躍へ 障がい者雇用のこれからを考える」

■ 実施概要

- ・日時: 2016年7月7日(木) 13:30-15:30 (13:00 開場) ※終了いたしました
- ・会場: EBIS303 『カンファレンススペース A・B』
〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 1-20-8 エビスパルビル
(JR 恵比寿駅 東口から約 250m。徒歩約 3 分。地下鉄日比谷線恵比寿駅 ①番出口から徒歩約 4 分。)
- ・参加対象者: 障がい者雇用に取り組む企業の障がい者雇用責任者及び担当者
- ・定員: 100 名 (先着順)
- ・参加費: 無料
- ・お申込方法: ※終了いたしました
- ・特典: 本フォーラムにご参加いただいた企業様には、障がい者雇用組織活性度診断(NANAIRO 診断)を特別価格にてご提供いたします。

■ 本フォーラムのポイント

1. 法政大学大学院教授 坂本光司氏による基調講演

ベストセラー『日本でいちばん大切にしたい会社』の著者・坂本光司教授による基調講演では、これまで 7500 社以上の中小企業を取材・調査したご経験から「人を幸せにする会社とは何か」について考えます。また坂本教授は、自らも障がい者を支援する社会福祉法人や特定非営利活動法人の理事長を務めるなど、障がい者の働く場作りに尽力しており、その豊富なご経験から障がい者雇用の促進が企業価値の向上に寄与する考えについて事例をもとに講演いただきます。

2. 障がい者雇用組織活性度診断(NANAIRO 診断)の特徴と活用方法のご案内

株式会社 NANAIRO は、特定非営利活動法人 障がい者就業・雇用支援センターが開発した、障がい者雇用に対する組織の現状を把握し、課題を抽出するための組織診断ツール『障がい者雇用活性度診断(NANAIRO 診断)』のサービス提供を 2016 年 6 月より開始しました。この NANAIRO 診断の特徴及び診断を活用することによる障がい者雇用推進方法をお伝えいたします。

3. 障がい者雇用推進施策の先進事例(Honda グループ会社様)の紹介

株式会社 NANAIRO が、企業における障がい者雇用を、人材開発と組織強化の視点からご支援をさせていただいた Honda グループ会社様の事例をご紹介します。Honda グループ会社様では、HR 領域の共通課題として認識している関係会社各社が主体となり、中長期的な取り組みとして位置づけ、障がい者雇用を推進しており、その事例をご紹介します。

■ 開催主旨

現在の日本社会においては、少子高齢化問題に対して、「希望を生み出す強い経済」、「夢をつむぐ子育て支援」、「安心につながる社会保障」の実現を目的とする「一億総活躍社会」の実現に向けて国をあげて取り組みを行っており、障がい者の生活や就労・雇用は重要課題の一つとなっています。

また、2016 年 4 月 1 日には、「障害者差別解消法」、「改正障害者雇用促進法」が施行され、共生社会の実現に向けた障が



いを理由とする差別の解消を推進すること、雇用の分野における障がい者に対する差別の禁止及び合理的な配慮に対する強いメッセージも発信されました。特に「障害者差別解消法」施行の背景には、障がい者の権利擁護に向けた取組が国際的に進展し、平成 18 年に国連において、障がい者権利条約の採択されたことへの対応があります。2020 年の東京オリンピック・パラリンピックの開催も決まり、日本における障がい者のために講じる施策は国内のみならず、世界へと視野を広げなければなりません。

近年の障がい者雇用に関する統計を参照すると、民間企業での障がい者雇用数は 12 年連続で増加しており、2015 年度の実雇用率は過去最高の 1.88%、法定雇用率達成企業の割合は 47.2%となりました。今後も法定雇用率の上昇は予測され、障がい者雇用(採用)の側面からの「量的」な推進が期待されます。しかし、「障害者差別解消法」や「改正障害者雇用促進法」が施行された背景からも想像できるように、障がい者が所属する組織においてその方々の適切な「雇用」や「活躍」は、「質的な」課題として残されています。

「企業における障がい者雇用はいかにあるべきか」を、ダイバーシティ&インクルージョンマネジメントの観点から考えることが NANAIRI の求めるところであり、この考え方の先には「障がい」をはじめとした多様な人材の持ち味・特性を積極的に業務と組織に活かし、戦略的な経営力向上に繋げ、新しい働く姿の実現に繋がります。

今年度の障がい者雇用フォーラムでは、これらの課題解決のひとつの手掛かりとして開発された「障がい者雇用組織活性度診断(NANAIRI 診断)」のリリースを記念し「採用から活躍へ障がい者雇用のこれからを考える」と題して開催いたします。障がい者雇用を「量的な」採用の問題としてではなく、経営全体の「質的な」経営の問題として捉え直し、本フォーラムに参加される皆様とともに検討いたします。

■ プログラム(予定)

<p>第 1 部: 13:30-14:30</p> <p>「特別基調講演: 障がい者雇用の推進が真に強い組織をつくる(仮)」</p> <p>法政大学大学院政策創造研究科 教授 坂本 光司 (さかもと こうじ) 様</p> <p>障がい者雇用を推進することで生じる企業経営への効果とはなにか。これまで 7500 社以上の中小企業を取材・調査したご経験から「人を幸せにする会社とは何か」について考えます。また坂本教授は、自らも障がい者を支援する社会福祉法人や NPO 法人(特定非営利活動法人)の理事長を務めるなど、障がい者の働く場作りに尽力しており、その豊富なご経験から障がい者雇用の促進が企業価値の向上に寄与する考えについて事例をもとに講演いただきます。</p>
<p>第 2 部: 14:30~15:00</p> <p>「障がい者雇用組織活性度診断(NANAIRI 診断)の特徴と活用方法」</p> <p>特定非営利活動法人障がい者就業・雇用支援センター 理事長 秦 政 様</p> <p>(株)NANAIRI は、特定非営利活動法人 障がい者就業・雇用支援センターが開発した、障がい者雇用に対する組織の現状を把握し、課題を抽出するための組織診断ツール『NANAIRI (ナナイロ) 診断』のサービス提供を 2016 年 6 月より開始しました。この NANAIRI 診断では以下 3 つの観点からその組織の障がい者雇用の質的状況を測定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①長期視点(長期的な時間軸の中で、障がい者雇用に対する組織の成長過程を測定) ②全体運動(障がい者雇用への取り組み、全社的な組織運動になっているかを検証) ③活躍志向(法定雇用率達成の為に採用にのみとらわれず、障がい者が活躍できる組織かを点検) <p>NANAIRI 診断の特徴と活用方法について、ご案内いたします。</p>
<p>第 3 部: 15:00-15:30</p> <p>「障がい者雇用推進施策の先進事例を探る(Honda グループ会社様のケース)」</p> <p>株式会社 NANAIRI 代表取締役社長 白砂 祐幸</p> <p>Honda は、基本理念である”人間尊重”に基づき、ダイバーシティを推進している中、グループ会社内にも特例子会社が三社 存在します。しかし、中長期視点で見ると、Honda グループ及び関連会社の中には、障がい者雇用における雇用・受入組織体制や制度・風土を含め、経営課題であるとの認識から、グループ会社様主体で、具体的な解決に向けた取り組みをスタートし、2015 年度から障がい者雇用のための PDCA サイクルを廻す施策を展開しており、その事例をご紹介します。</p>



■ 講演者プロフィール

坂本 光司（さかもと こうじ）様

法政大学大学院政策創造研究科教授
人を大切に経営学会会長

- ・ 法政大学経営学部卒業。公共産業支援機関、浜松大学教授、静岡文化芸術大学教授などを経て、2008年より、法政大学大学院政策創造研究科教授、および同大学院静岡サテライトキャンパス長。
- ・ 他にNPO法人オールしずおかバスターコミュニティ理事長など、公職を歴任する。
- ・ 専門は中小企業経営論、地域経済論、福祉産業論。これまでに7500社を超える中小企業を訪問し、調査・アドバイスをこなしている。
- ・ 『日本でいちばん大切にしたい会社 1～5』（あさ出版）、『日本でいちばん社員のやる気が上がる会社：家族も喜ぶ福利厚生100』（ちくま新書）、『「日本でいちばん大切にしたい会社」がわかる100の指標』（朝日新聞出版）など、著書は多数。

秦 政（はた まこと）様

特定非営利活動法人障がい者就業・雇用支援センター理事長
株式会社 NANAIRO アドバイザー

- ・ 慶応義塾大学商学部卒業後、専門商社人事部勤務を経てリクルート入社。リクルートプラス（現在社名リクルートオフィスサポート）を設立。
- ・ 日本経済団体連合会障害者雇用アドバイザー（2001年～2006年）として、事業主向け講演と個別指導・高齢・障害者雇用支援機構協力専門家としての事業主向け雇用指導と研究。“障害者の在宅雇用”の指導と実践（特定非営利活動法人障害者在宅雇用支援センター専務理事）。厚生労働省委託研究として“精神障害者の雇用管理研究委員会”委員。（株）アドバントテックリスクマネジメント顧問としてメンタルヘルス事業運営。総務省 ICT 活用の評価及び普及に関する調査研究委員会委員などを歴任。
- ・ 『障がい者雇用促進のための119番』（執筆・監修）、『精神障害者雇用のためのQ&A』（執筆・監修）、『ケースで学ぶ障がい者雇用促進支援講座』（監修・執筆）、『特例子会社設立による障害者雇用推進の功罪』、『特例子会社設立マニュアル』（執筆・監修）など書籍多数。

白砂 祐幸（しらすな まさゆき）

株式会社 NANAIRO 代表取締役社長
株式会社 アイエスエフネットハーモニー 常務取締役

- ・ 大学卒業後 IT 業界にて営業として勤務した後、2003年、アイエスエフネット入社
- ・ メンタル不調者の方々の復職専門部署を設立、同時に障がい者雇用の現場を運用しながら営業も兼務し、特例子会社を立ち上げる
- ・ 特例子会社設立コンサルテーション、障がい者就労サポートアドバイザーなどを得意とし、これまでの経験を踏まえた研修、講演活動も多数実績あり



本フォーラムに関するお問い合わせ先

株式会社NANAIRO 障がい者雇用フォーラム担当 渡邊 淳(わたなべ じゅん)
〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 1-19-19 恵比寿ビジネスタワー7F
TEL: 03-5793-3126 FAX: 03-5793-3127
MAIL: seminar@sevencolors.co.jp

株式会社NANAIROのご紹介

株式会社NANAIROは、企業における障がい者雇用推進を、人材開発と組織開発(雇用/リテンション/人材育成/制度・業務設計/組織風土醸成等)、双方の視点からトータルアプローチで支援し、ダイバーシティ(多様性)&インクルージョンの観点から個々の障がいと持ち味・能力特性を積極的に業務と組織に活かし、戦略的な経営力向上に繋げてゆくソリューションを提供しています。

事業内容:

1. 法人向けの障がい者雇用支援コンサルティング並びにアドバイザー業務(障がい者雇用方針・計画策定、人事・教育制度構築等)
2. 法人向け障がい者雇用に関する公開セミナーの企画・運営
3. 障がい者を中心とした人材紹介サービス(有料職業紹介事業許可番号 13-ユ-307279)
4. NANAIRO 診断(障がい者雇用組織活性化診断)の企画・運営(<https://www.nanairo-survey.jp/>)
5. その他、障がい者の就労支援に関する法人向け、トータルソリューションサービスの提供

代表取締役社長: 白砂 祐幸

アドバイザー: 秦 政

本社所在地: 〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 1-19-19 恵比寿ビジネスタワー7F

電話番号: 03-5793-3126

設立: 2015年4月1日

資本金: 2,000万円

URL: <http://www.sevencolors.co.jp>

E-mail: info@sevencolors.co.jp